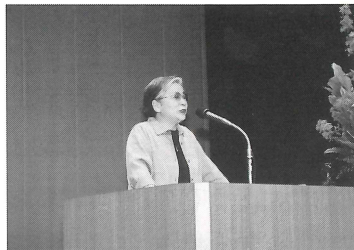


常任委員会(4・7・11・2月)
総会・憲法と市民のつどい(5月)



5月26日(土)メシアターにおいて、「子どもの心の声を聴く」～相次ぐ事件の背景～と題して、教育ジャーナリストの青木悦さんにご講演をいただきました。少年事件の取材を通して、子ども達の現状と課題を探りながら、子どもを追い詰めているものとは何か、「事件」を防ぐものは何かなど、とても分かりやすいお話でした。また、講演後、歌手の伊藤裕子さんらによる、手話シャンソンコンサートでは、懐かしいシャンソンの名曲に手話をつけながら数々披露され、参加者の一人ひとりの心に深く響きました。



協力企業部会活動

- ※ 4月26日(木) 講演
「企業と人権」
講師 柳瀬 将さん
- ※ 6月13日(水) 講演
「職業安定行政からみた人権問題」
講師 岡村 公人さん
- ※ 9月～10月、計4回にわたり
市民ひゅーまんセミナーに参加



地区委員会代表研修会(9月)

9月29日(土)女性センター(デュオ)において、地域における人権啓発の推進役としてご活躍中の皆さんを中心に27名の参加を得て開催しました。

一部では人権啓発映画「おばあちゃんありがとう」を観賞し、差別のない家庭・地域をつくる実践のあり方を学習しました。二部の3つのグループ別交流会では、各地域における現状と啓発課題などについて活発な意見交換がおこなわれ、他地区委員会との交流と共通理解がはかられました。



市民ひゅーまんセミナー(9・10月)



「ハンセン病の歴史に学ぶ」
牧野正直さん



「多文化共生社会の到来と私たちの役割」
田村太郎さん

9月～10月、計4回にわたり各分野の専門の方々をお招きして人権に関わる様々な課題について多くの市民の方々と学習しました。



「ともに生きる社会をめざして」
谷口明広さん



「現代にお葬式を考える」
武田達城さん

地域安全・青少年育成市民大会(10月)
駅頭啓発活動(12月)
人権フェスティバル(12月)



2002年人権カレンダー作成

発行／吹田市人権啓発推進協議会
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
☎(06) 6384-1231(代)内線2596～8
FAX (06) 6368-7345(直通)

(再生紙を使用しています)



吹田市
人権協だより



じんけん ネット吹田

No. 12

平成14年(2002年)3月



2001人権フェスティバル

2001人権フェスティバル

2001年12月2日(日)メシアター中ホールにおいて、「地域から心をつなぐ人権の輪」をテーマに『ITが拓く新しい社会』～障害者はチャレンジド～と題して、社会福祉法人プロップ・ステーション理事長の竹中ナミさんにご講演をいただきました。障害をマイナスにとらえるのではなく、「チャレンジド=挑戦という課題を与えられた人」ととらえ、全ての人の尊厳を認めあう社会づくりへ向けて元気がでてくるお話でした。また、市民コーラス、バンブーの皆さんの楽しく、さわやかな歌声が会場の皆さんの心に響きました。



(佐井寺地区委員会)

「地域みんなで子育てを」

付属池田小学校の事件は、学校や地域の「安全」について様々な課題を私たちに投げかけました。佐井寺地区委員会は、すでに4年間にわたり、子どもの暴力や虐待防止について、参加者が自主的に活動し学んでいくCAP講演会をPTA等と連携して行ってきました。ある時は子どもたち自身にできることを考えさせ、また、おとなたちがなすべきことを具体的なプログラムに基づき学んできました。

今年度も11月19日、佐井寺小学校で100名近い保護者や地域の方が参加し、おとな向けの暴力防止の実践的活動を真剣に学びました。

当委員会は、今後も地域みんなで子育てを行い、安全で人に優しい街づくりを皆さんと共に進めてまいります。

(佐井寺地区委員会 古樫滋)



(山五地区委員会)

「生きる勇気をありがとう」 —人権教育講演会—

2月2日(土)山五地区委員会で元PL学園野球部の清水哲さんをお招きして、人権教育講演会を開催しました。

公民館、小学校が共催し、貴重な体験を話される清水さんの一言、一言を聞きのがさないようにと小学生(4年生～6年生)や地域の多くの方々も真剣そのものでした。

「障害者だからできる仕事」と使命感を持ち、全国を講演されている清水さんの力あふれる生き方に、会場全員が感動をおぼえ、小学生からのするどい質問などに、にこやかに答えられていた清水さんの笑顔がとても印象的でした。

障害のある人や、自分のまわりの人で、本当に困っている人に対してどう接していくかという人権意識を地域ぐるみで高めるための実りある講演会でした。

(山五地区委員会 川原一晃)

「浪速少年院」施設見学会

青山台地区(青山台・藤白台・北千里)と古江台地区合同の管外研修会として、2月7日(木)茨木市の浪速少年院とクリスチン遺物史料館を見学しました。

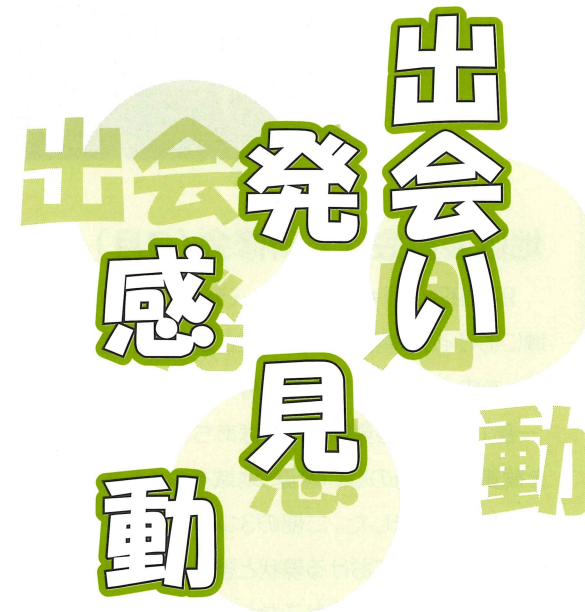
車中、青山台小学校の竹村敏夫校長に、人権について学校での子どもの日々の様子等、実践をまじえてのお話を伺いました。

浪速少年院は、平成8年に改築され院内は、白と若草色に統一され非行を犯した少年たちが入院した時に、建物や院内の花を見た時に少しでも罪の重荷をやわらげてもらえればとの職員の方々の思いだそうです。職業訓練を中心とした施設にふさわしく、作業内容も規律よく職業資格を取得する少年も増えているそうです。少年の相次ぐ事件も、現状から少しでも非行を防止するために、人権問題として捉え、今後も取り組んで行かなければと痛切に感じました。

(古江台地区委員会 宮浦ミネ子)



(古江地区委員会)



「人権公演会」 —人権を守る心を育てる—

2月2日(土)豊津西中学校において、学校、PTA、豊二・江坂大池公民館の共催で、人権啓発推進の見地から人権公演会を開催しました。

今回はNHK朝のテレビ小説「ちゅらさん」に居酒屋の店長役で出演された藤木勇人さんをお招きして、一人ゆんたく芝居「南島妄想見聞録」を演じていただきました。その内容は、講師の出身地である沖縄の自然、歴史、文化、習慣、日常生活などを老若男女、様々な人物を一人で語り演じるといった「トークと一人芝居」でした。特に米軍基地と共存しながらたくましく生きてきた歴史から、「他人を思いやる心」「人権を守る心」が育まれてきたことを学んだ意義のある公演でありました。参加された方々は、改めて「人を思いやる心」「人権の心を育てる」ことの意味を深く心にとどめました。また、卒業生へのメッセージにもなったと思います。

(江坂大池地区委員会 稲置啓一)



(片山地区委員会)

「沖縄三線と島唄」コンサート

10月27日(土)片山地区公民館で、朝日が丘児童センター、片山地区公民館、地区連合自治会との共催で、三線教室講師を勤める傍ら、プロの新進演奏家として活躍中の三線ボーカリストの天川美佐男さんをお招きして「沖縄三線と島唄」コンサートを開催しました。

当日は、人権協推進委員、地域住民等、124名の方々が参加されました。参加者の多くは、大地に響くようなその歌声に耳を傾け、感銘を受けました。違いを認め合い、人を思いやるやさしさと人間の持つ力強さを改めて考え直す機会を与えてもらいました。基本的な人権を学ぶ場としてふさわしいコンサートになりました。

今後も推進委員の方々を中心に、地域の方々と協力しながら、様々な活動を通して「人権の輪」を広げて行きたいと考えています。

(片山地区委員会 伊藤孝義)



(江坂大池地区委員会)